

# 明倫

題字: 横村正直

平成二十一年八月一日発行  
 明倫自治連合会広報委員会  
 発行部数 2000 部

## 幼稚園の園庭が楽しい歓談の場に マンションの皆さんも一緒に、大盛況の明倫パーティー

前夜の雨も上がり、五月晴れの薫風が心地よい23日(土)の夕刻、自治連主催の役員懇親会(明倫カーテンパーティー)が自治会館(元明倫幼稚園)園庭で行われました。

今年で3回目となるパーティーは、新旧町内会長(市政協力委員)、各団体役員を始め、中京区長、芸術センター、祇園祭山鉾連立会など、関係者多数が出席。

今回は明倫学区内に14棟ある分譲マンションの役員の方々にも参加を呼びかけ、出席者の総勢は百十余名。園庭いっばいに賑やかな歓談の音が溢れました。(写真)

### マネーズ(マニース)に挑戦

今年のメインディッシュは、フレッシュラムシヨルターに豚ロースのシャブリヤブ。

工場栽培の清浄レタスのドレッシングとして、酒井自主防災会長の発案による、その場で作ったマネーズに戸惑いながらも、舌鼓を打ち、歓談のたべが過ぎていきました。

京都芸術センターの内山専務理事が、「参加者も多く、楽しいです。パンがおいしいですね」と前のイタリア文化センターのグラツィアボッソリ館長に話されると、「イタリア、パルマ産の生

ハムと、チャパッタ(ミラノ本店のイタリアパン)だからでしょう。今日は、こんな素晴らしいパーティーによばれて光栄です。」と感激のご様子。  
 祇園祭山鉾連立会の深見理事長も「これほどの料理の溢溢を聞きながら食へるなんて!」と満足。



丸田京都学園大学教授(日本文学)は「始めて参加させて頂きましたが、楽しいですね。森嘉のお豆腐もお肉ともよく合います。」



テーブルも照明も、皆で協力してセット、夕暮れと共にほのかな灯が雰囲気を作る。

### 地域活動の新たな私たち

豊屋町アパマンションの松岡さんは「明倫学区にきてから6年になります。こんなに楽しいパーティーはあまり経験がないです。もっとマンションの方々をお誘いすればよかったと思ってます。お料理もとても美味しいです!」と大満足。

今年の七観音町の市政協力委員である読売新聞の松尾京都総局長は、「こんな都会の真ん中で、夕空を見ながらパーティーが開けるなんて、うちやましい限りです。こうして新しいマンション住民の方々、古くからの地域の人々がともに楽しむことができるのは新しいまちづくりの取り組みの形ですね」との感想。

参加費は一人千円で、全て自分たちで企画運営し、後片付けまで参加者全員で行う形の、明倫サンセットカーテンパーティーは、新たな地域活動の形を見せてくれているようです。

記 井上

# 地域住民が一つとなつて、「共生できる」学区へ 新たな人材と、時代に合った組織づくりが課題 平成二十一年度自治連総会

5月13日の午後7時から、京都芸術センター大広間において、平成21年度自治連合会総会が開催されました。

総数27町のうち、出席19町。委任状提出6町。欠席2町。各役員総数26名の内、25名が出席。欠席は仕事の都合でやむを得ず欠席された民生委員会のみでした。

## 次代に引き継ぐ人材確保

吉田会長は、会長挨拶の中で「これからの自治連としては、各委員会も含めスタッフの若返りを求め、次代に引き継ぐ人材の確保、育成に力を注がねばならない」と述べた。

また、一前町内会長より提出された本部一役員への退任要求に対し、「4月14日の理事会において、本部役員の推挙、選任が全云一致でなされたこと。また退任要求に関して、同じく全員一致で否決されたこと。基本的に自治連合会の役員とは、となたでも就任して欲しいが、まずは口頭から町内、そして各委員会活動へ御参加され、その中で皆様方から推挙され、地域住民の方々からお願ひされて本部役員に就任するのが本来のあり方ではないでしょうか。」と説明されました。



## マンション住民の参加急増

引き続き、井上総務から出席各委員会代表の紹介があり、「民生委員長が八田さんから向井さんへ交代。身体障害者会の作道会長が健康上の都合で、身体障害者会を廃会されること。共同募金委員会が伊藤さんから玉井さんへ交代など、人事面の報告がありました。その後、本部主催となった「明倫パーティ」が90名を超える盛会だったこと。文化祭において、学区内14の分譲マンション一斉の防災避難訓練に、百五十名を超える参加者があったこと。

また、ペトロピエアの修復が成り、京都市長出席のもとコンサートが行われたこと。そして、2月のもちつき大会には、二百五十名もの多数の参加者が見られたこと」などの報告がありました。

## 会計報告をより判りやすく

続いて、市田会計より平成20年度の会計報告を受けましたが、「定期預金満期分の記載方法に問題がある」、「決算書は、予算や前年度決算と対比できる形式の方が、理解しやすい」、「各町分担金の一覧表を添付してほしい」などの意見がありました。

これらについては、再度市田会計がよりの判りやすい会計報告書を作成、それを理事会にて審議承認のうえ、各町内会長各位へ配布することになりました。

## 現状に即した規約作りの

平成20年度の事業報告・会計報告、平成21年度の予算が、拍子により承認された後、吉田会長より「現在の明倫自治連合会規約があまりにも古く、各役員を選出、任期についても不記載であることなど、現状にあっていないところもある。よって、規約改正プロジェクト



エクトを立ち上げ、一年をかけて規約を現状に即するように改正したい。その委員に、酒井、五藤、河野、北川、長谷川、加茂の各氏にお願いしたい。」との提案がありました。

また、まちづくり委員会より「地区計画はすでにあるが、建物用途の規制、特に風俗営業への規制が不徹底であるため、早急に地区整備計画を定めたい」、「各分譲マンション管理組合間の連絡を密にし、自治連合会との共通パイプづくりなど、共生できる地域を目指していきたい。」(マンション)連絡協議会の結成をに向けた取り組みを進めたい」との報告もありました。

以上の各案件は、一括審議後、拍手に了承され、総会を終りました。

記 井上

# 平成二十一年度 自治連合会・団体役員 (敬称略)

## 連合会本部

会長 吉田孝次郎 (六角町)  
 副会長・会計 市田昌生 (炭之座町)  
 副会長・総務 井上成哉 (三条町)  
 副会長 井上高明 (骨屋町)  
 会計監査 川崎栄一郎 (三条町)  
 総務補・事務局 河野 泰 (玉蔵町)

## 市政協力委員会

委員長 山田浩三 (六角町)  
 委員 山田正博 (六角町)  
 七観音町 松尾 徳彦  
 手洗水町 磯部 憲昭  
 箏 町 宮下 徹  
 烏帽子屋町 大田 正樹  
 鯉 山町 雑古 彰久  
 山伏山町 村中 正明  
 菊水鉾町 川塚 錦造  
 了頓図子町 藤本 善治  
 観音堂町 中島 克利  
 三条 町 後藤 正雄  
 六角 町 山田 浩三  
 百足屋町 黒竹 哲也  
 小結棚町 川北 昭  
 炭之座町 渡辺 一弘  
 御倉町 八里 厚夫  
 衣棚町 中野 幹吉  
 釜座町 中塚 照  
 骨屋町 吉居 桂一  
 玉蔵町 井上 和明  
 西六角町 吉羽 柁人  
 橋弁慶町 藤野 貞一

## 不 動 町

谷 隆司  
 占出山町 松田 芳和  
 天神山町 中尾 和生  
 西錦小路町 田村 祐一  
 姥 柳 町 上村 美和子

## 各団体会長・代表者

社会福祉協議会 寺江 信子 (六角町)  
 民生児童委員会 向井 浩司 (骨屋町)  
 共同募金委員会 玉井 敏子 (西錦小路町)

日赤奉仕団 岸本 克啓 (小結棚町)  
 保健協議会 井上 清 (釜座町)  
 消防分団 吉居 章一 (骨屋町)

## 防犯推進委員協議会

浅見 儀明 (鯉山町)

## 少年補導委員会

島田 紀久雄 (百足屋町)

## 体育振興会

北川 道裕 (百足屋町)

## 文化協議会

小西 満寿子 (百足屋町)

## 祭事委員会

大田 龍二 (烏帽子屋町)

## 平安・八坂婦人会

木村 十重子 (骨屋町)

## 遺族会

吉居 桂一 (骨屋町)

## 婦人会

金剛 君子 (菊水鉾町)

## 交通安全委員会

井上 高明 (骨屋町)

## 明寿会

五藤 耕之助 (西錦小路町)

## まちづくり委員会

井上 成哉 (三条町)

昨年11月16日の「明倫学区マンション合同避難訓練」の際に実施したアンケートには、「お町内や学区での交流を深めたい(33.3%)」との「意見」に加え、「マンションの管理に関して、専門家や行政による相談や役立つ情報を得たい(37.5%)」「マンション内や



テーブルを囲んで意見交換 (第2回)

## 地域と共に住み続けられるマンションとは 「明倫・マンションと共にまちを創る会」を連続開催

の田村哲夫さん、京都市景観まちづくりセンター、京都市住宅政策課のご支援により、今年度は5回開催を予定しています。

### ★第1回

日時 2月28日(土) 14~16時

場所 明倫自治会館(元明倫幼稚園) プログラムとしては、自治連吉田会長の「これから新旧住民の壁を作らず交流していきたい。」との挨拶の後、京都市「すまいスクール」講師でもある田村哲夫さんの「マンションの日常管理の考え方」の講演が行なわれ、その後参加者全員で意見交換を行いました。

### ★第2回

日時 4月11日(土) 19~21時

場所 明倫自治会館(元明倫幼稚園)

1回目の成果を踏まえ、4~5人ずつの小グループに分かれてワークショップ形式の意見交換会を行いました。

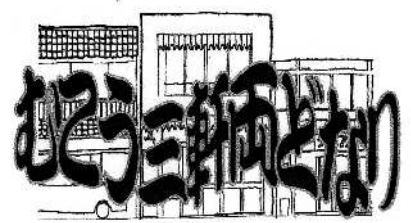
グループ毎に「地域とマンション間の困り事や工夫事例」、「地域とマンション間の情報伝達をどうする?」、「マンション内の地域担当窓口をどうする?」などをテーマに意見交換し、最後に各グループの意見発表を行いました。

記 河野

マンション同士の交流や意見交換の場を作りたい(25.0%)」との意見を多くいただきました。

これを受け、明倫自治連合会では、同じ学区民としてマンション住民と共に住み続けられる「明倫学区」を目指し、マンション管理の問題や地域活動に関する意見交換の場として「明倫・マンションと共にまちを創る会」を開催するものとしました。

会は、NPO法人集合住宅改善センタ



### 「向かい隣」と「向きあう隣」が「お隣さん」

5年間の無火災記録が、たった一瞬の過失で破られたのは残念だった。最近この地域もマンションが立ち並び、狭い道路を歩いていると、上を見上げながら歩いている余裕すらなくなりました。

現在のマンションでの「お隣さん」は、同一階での住民のみならず、上の階の住民と下の階の住民と、とても立体的に考えることが必要だ。しかしそれ以上「重要なのは、ベランダ越しのお向かいなどのマンション住民ではないだろうか。」「お隣さん」と「お向かいさん」である。

お名前も存じ上げない住民同士、一つの空間を挟んで対峙している。今回の火災も、向かい合ったマンション住民からの消防署への通報により、初期消火が可能だったと聞いている。マンション全棟の大火災にまで至らなかつた、ほっと胸をなでおろす。

同じマンション住民は、当然一つのマンションの組合員としてお隣り「関係」なのだが、これからはお向かいのマンションの住民、組合員も仲良く「お隣さん」関係にならなくてはならないのではないか。

例えば火災や地震、あつてはならないが昨今新聞紙上を賑わす、子供や老人への虐待事件など、様々なきに頼り「なるのは、遠くの親戚より近くの他人」「向かいのお隣さん」ではないだろうか。

いま、自治連合会としても一棟ある分譲マンションを、何らかの形で横につなげた、連絡協議会のようなものを作れないかと考えている。狭い地域住民、いざと言ったときは、運命共同体と考えてほしいものだ。「住み続けていける地域」って、自然が豊かそして人間味もあふれていてほしいものだ。

記 井上



### ★ペトロフの会だより

昨年11月の修復記念コンサートを終え、かつての美しい姿をとりもたれたペトロフピアノの音色。今後のコンサートの計画をあれこれ考えているところです。

春から夏に向けて一度コンサートを開きたいと思っておりますが、なかなか日程が合わず、秋の明倫文化祭にあわせてのコンサートを企画中です。ペトロフのふるさとであるチェコの曲を弾いていただけたらと思ってい

ところ、スメタナの「わが祖国」を連弾で演奏されるピアノリストがいらっしゃいました。

オーケストラではよく聞かれる曲ですが、ピアノ連弾はまだ聴いたことがありません。どんな風な演奏になるのか今から楽しみです。

### ◆ペトロフ復活第一回コンサート

- 日時 11月14日(土)夜
- 演奏 武田早智さん 中台 円さん (ピアノ連弾)
- 曲目 モルタウ(スメタナ)「わが祖国」(より)など
- 入場料 2千円。

ペトロフの会の専属ピアニストのようになっているにいたっている植村照さんの「ひとときのコンサート」が6月15日(月)午後2時から3時に京都芸術センター講堂で開催されます。

メンデルスゾーンやフォーレの曲にあわせて、浜辺の歌、この道も演奏されます。お誘いあわせてお出かけ下さい。(入場料 6000円)

記 小島

### ★消防団【査閲】報告

5月24日午前7時より、新型インフルエンザで行事中止が相次いでいる状況下ではありましたが、中京区消防団総合査閲に古居分団長率いる明倫分団総員16名が臨みました。

古田自治連会長、酒井自主防災会長

井上総務の見守る中、整列行進(全員)と小型動力ポンプ操法(巻出、小西、伊藤、近藤分団員)など口頭訓練の成果を披露しました。

記 長谷川



島津グラウンドにて。



### 西錦小路町

### 第二十二回

町名の由来は定かではない。錦小路通にあり、西洞院に面している。西錦小路町と呼ばれていた。



四条通

町内の真ん中、北側に「亀薬師」と呼ばれて近隣に親しまれている延命山龍院」という古刹がある。建立は古く、寺伝によれば天長八年(八一九年)と言われている。戦乱、大火をくぐりぬけてきたのであろう。

## 町内探訪

平安末期の京都の古地図を見て、東薬師堂、西薬師堂とあり、大きな寺域を誇っていたと思われる。本尊は龜の甲に乗った薬師如来立像である。「亀薬師竹之坊」と呼ばれたため、町名が一時、竹之坊町と称した時期があったらしい。

町内のいろんな行事は、この寺を中心に廻っていたようだ。昭和三十年代には、世帯数が六十を越え、和装関係を中心とした町で今思い起こしても、呉服、白生地、悉皆、下絵、シミ落とし、紋上絵、湯のし、印し染め等の職が軒をならべ、加えて料理仕出し、製パン、青果店、美容院、電気店、文具店、牛乳屋と商いの盛んな町であった。

町内の行事は、新年の挨拶、春のお千度、地藏盆、子供中心の秋のリクリエーション等が行われた。子供の数が



亀薬師の境内に集まった子供達

三十人近くの頃は地藏盆も盛大に行われ、大人たちは福引、ゲーム、おやつに趣向を凝らし、亀薬師の境内を借り、賑やかに盆踊りを楽しんだ頃もあった。錦睦会と名付けられた町内の親睦会が昭和二十九年に作られ、高辻西洞院の管大社天満宮で三十二名が参加して、発会式が行われている。戸主ばかりで、今から考えてみると男中心の会としては免れないと反省している。

異業種の人達が集まって情報を交換する貴重な耳学問の場でもあった。町内の様相が変わったのはマンションの出現によるものだった。現在は六棟あり、主として単身者向けのものがある。推定で七十〜八十戸と思われる。居住されている方達と町内会とのかわりは殆んど無い。町内の世帯数は減少し、現在二十九、居住者は約六十人である。このほかに風間のみ営業の店舗が七店という状況である。

子供は少なくなり、お年寄りの一人暮らしが増えている。助け合い、安心して暮らせる町を目指し、みんなの親睦をはかっていきたいと考えている。

記 五藤

### ★ボウリング大会



3月15日(日)よく晴れた良いお天気。体振恒例のボウリング大会がMK上賀茂ポウルで開催されました。



今年は昨年の一五二名をはるかを上回る一八三名の参加者があり、ワンフロア借りきりの盛大な大会になりました。

ルール変更もあり、3ゲームの内前の2ゲームトータルが成績となり、ストライク賞も7個に制限となりました。優勝は、男子が不動町の近藤孝志さん(41歳)、女子が骨屋町の向井早紀子さん(29歳)でした。

記 長谷川

### ★おひな祭り

3月28日(土) 社協と民生児童委員会の共催による『おひな祭り(いさいきふれあいサロン)』が明倫自治連会館

遊戯室にて開催されました。出席者は60人ほどでしたが、池坊学園の邦楽部によるお琴と尺八の演奏があり、さくら変奏曲などお雛祭りにふさわしい曲が演奏され、お祭りを盛り上げていました。



池坊学園邦楽部の皆さんの演奏

着物の着付けもきれいにされていて、後姿も皆さんに披露して頂きまして、ありがとうございました。中京区社会福祉会事務所の方から振り込め詐欺に合わないようにお話もいただき、美味しい弁当やお抹茶などをいただき、皆で歌うなど楽しいお雛祭りでした。

記 長谷川

### ★連続無火災記録途切れる!

明倫ニュース二十一号で6年連続無火災記録達成とお知らせしましたが、3月17日に起きましたマンション火災の為、記録が途切れてしまいました。ちよつとした油断が原因の火災でしたので家を留守のときは暖房器具等に十分に注意してください。

### ◆火災及び消防活動の概要

発生日時

平成 21 年 3 月 17 日 17 時 47 分

発生場所

中京区姥柳町 2-06・2 エステ

△プロザ蜡薬師

焼損結果

1 室の一部焼失及び収容物焼損

消防隊出動状況

指揮車、ポンプ車、はしご車、救

助車、救急車など、計 15 台

消防隊の深夜帯における現場警戒態勢

23 時〜翌 6 時（延べ 4 隊）

消防団出動

明倫分団 8 名（20 時まで）

（応援分団）

本団、日彰分団、本能分団、城巽

分団から計 12 名

火災状況

外出中に電気暖房器具等が何らか

の原因で周りに引火した様子、隣の

ローレルコートよりの通報で発見。

### ★中京区ソフトボール大会に出場

09 中京区大会（5 月 10 日）

ソフトボール大会が朱雀グラウンドで開催されました。

明倫は若い人が中心で、活躍していただきました。

- ・ 1 試合目（対龍池戦）9 対 8 で勝利
  - ・ 2 試合目（対銅陀戦）6 対 7 で敗戦
- どちらでもいい試合でした。

記 北川



### ★消防団ヘリコプターに乗る

4 月 22 日、吉岡団長・長谷川さん・

赤井さん・藤村さんと私の 5 名で消防

ヘリコプター搭乗訓練に参加してきま

した。

団長宅に集合し、長谷川さんの車で

出発。向かう先は伏見区横大路にある

京都消防ヘリポート。

車の中では、過去の搭乗訓練の話で大

盛り上がり、訓練への楽しさや不安

と思いつつ、会話が途切れる事なくヘ

リポートに到着。

まずはヘリコプターの構造を模型で

丁寧に教えていただきました。

説明が終わりがけると「ここから今

日、乗せてくれるのは、新しいやつでいいか？」と長谷川さん。よっぽど新型に乗りたいたいようです。

念願叶って新型に乗れるとの事。続いて飛行ルートの決定。「どこに行きたいですか?」「まずは明倫学区で二条城」、「金閣寺もええなあ。あそこ山は何回も行ったしもうええわ」これっ



続いて座席決め。長谷川さんと赤井さんは早々に前列の窓側をキープ。自己主張しない日本人は見習った方がい

いかも。後列は団長の気遣いもあり、藤村さんと私が窓際、団長がその間に座る事になりました。

メジャーなルートと座席も決まり、ヘリコプターへ。記念写真を撮るまくり、いよいよ搭乗。中では騒音で会話が出来ない為、ヘッドフォンとマイクを各自装着。プロペラが回りの始めヘリコプターからは確認作業と思われる事

専門用語のやりとりがはげしく聞こえ続ける。この時だけは団員の方々も少し緊張気味。

◆ 出発の合図と共にプロペラ（ローター）が激しく回り出す。周辺の草木が大きく波打ち、風の強さを目の当たりにしながら、少しずつ浮かび上がる。そして明倫学区へ向けて出発。

あつと言つたまま清水寺・京都駅と見下ろしながら明倫学区へ。300m 上空から見ると三條通の細いこと。衣棚を探しているはずが既に堀川通り。結局自分の家を見つけた事が出来ないまま、二条城・御所・金閣寺そして比叡山の山頂を真横にみながらあつと言つた間に琵琶湖へ。

琵琶湖大橋と近江大橋を同時に眺めながら、京都市内へ Uターン。当たり前ですが、生まれて初めて大文字山を真上から。

30 分間のフライトはあつと言つた間に終わり、ヘリポートに到着。

消防分団に入団するのはたまに町内の見回りをする程度だと思っていたのですが、予想外に貴重な体験をさせていただく事が出来ました。

帰りの車中でも相変わらず会話が続けられる事なく団長宅に戻りました。

貴重な体験の出来る、和気あいあいとした明倫消防分団に興味をお持ちでしたら、是非「いばらがすいたら」へお越し下さい。

記 小山（衣棚町・いばらがすいたら）  
TEL 212・588833

★中老連の若手委員会に参加して

〜この一年を振り返りかえって〜

●中老連理事長

「若手委員の方から何かありませんか。」年度始めの平成20年4月8日、中京区老人クラブ連合会(以下、中老連)の理事会に初めて出席しました。今まで、単位クラブ長でもなく、学区老連の会長でもない者が、若手委員長として出席しましたので戸惑いだらけでした。

以前から中老連の諸行事には積極的に参加し、市老連の若手委員会の幹事として列席していましたが、中老連の組織・役割やシキタリとか右も左も全くわからない状態でした。が、隣に明寿会の五藤会長が居られ心強く思いました。

若手委員会は「中老連や学区老連の各委員会の事業等に、積極的に参加して、お手伝いすることを活動の基本とし、活性化のために陰ながら支援・協力してゆきます。」と発言しました。そのために、毎月の中老連の理事会・役員会の後、若手委員全員に「中京区老人クラブ連合会予定表」を作成して發送しています。

●若手委員会研修会

8月26日には、若手委員会の研修会があり、中老連の会長、副会長、五藤研修委員長、奉仕委員長、女性委員長等が臨席され、若手委員の自己紹介の後、京都市老人クラブ連合会(以下、市老連)で採択された「若手委員会 活動・運営実施要綱」の説明がありました。

老人クラブは「全国老人クラブ老合会―市老連―中京区老連―学区老連(明寿

会)―単位クラブ(西・東明寿会)」とのつながりや、中老連の組織や各委員会の活動状況などの説明をされました。

若手委員の中に、単位クラブ長や学区老連の役員でない方が多いので、私にとってもよい勉強になりました。一ヶ月に一度、若手委員会を開催して、各学区老連での実情報告や情報交換を行なっています。

●健康つくり中央セミナー研修会

平成20年9月30日〜10月3日まで、市老連を代表して南区の若手委員と二人で、湘南で行なわれた「健康つくり中央セミナー」の研修会に参加しました。



全国各地の関係者と話し合う機会があり「地域に健康つくり・介護予防の輪

を広げよう」をスローガンに、閉じこもり症候群をなくす関連の講習でした。老人クラブの活動は介護予防そのもので、これからも「健康つくり」活動の輪を広げて、楽しくからだを動かし、健康で生きがいのある生活を送れるよう支援していきます。

「閉じこもり」は、疾病ではありませんが、週に一回も外出しないような閉じこもり生活を続けると、運動機能の低下や認知症の進行を招きやすくなります。閉じこもりの原因で要介護状態に移行しないためにも、意識的に生活空間を広げて豊かな生活をおくり、心の健康づくしを目指し、いつも笑顔を保ち、自分で出来ることは自分で行い、積極的に外へ出ていただけるように努めます。

この一年でようやく中老連の理事会でも、存在が認めていただけるようになりました。平成21年度からは、単位クラブである「東明寿会」の世話役となりました。明寿会では、毎月第1と第3月曜日の午前10時から明倫自治会館クラブハウスで「明寿会サロン」を行なっています。身体を動かす簡単な体操や、ゲームを行い、談笑のひと時を楽しく過ごしていますのでお気軽に参加してください。

結婚して50年、「金婚式」間じかの方々はおられますか?。老人クラブ連合会「明寿会」に夫婦で登録しておられないと、京都市からのお祝いを受けることができません。注意してください。入会のお問い合わせは、

五藤耕之助会長(西錦小路町) TEL2271・5302まで。

記 赤井又三郎(鯉山町)

記事の訂正とお詫び

前号の京都学園大学・市民講座の記事中、タイトルに誤りがありましたのでお詫びして訂正します。各回の市民講座タイトルは、次のとおりです。

京都学園大学・市民講座

『明倫からの発信』〜京の商い〜

第1回

「美と商い」

講師 小澤淳二氏(大松株会長)

第2回

「のれん」を通して見る「町衆企業」

講師 井上成哉氏(写真家)

第3回

「伝統」練りこむ新機軸

講師 酒井英一氏(おたへ顧問)

京都学園大学・「新柳居」市民講座

『まちひととまじり』現代の町衆・

吉田孝次郎は語る

第1回 京町衆と日々の暮らし

第2回 京町衆と日々の暮らし②

第3回 祇園祭、山鉦風流と渡来染織品

講師 吉田孝次郎氏(無名舎)

京都学園大学・市民講座

「京料理」お正月のしかた

講師 井山修一氏(井傳)主人

明倫人 ⑦



小島富佐江さん

空前の町家ブームの中で町家の守護者として活躍されている小島富佐江さんは、伏見稲荷の近くで育ち、1985年(昭和60年)に結婚され、当明倫学区に生まれまし

た。明倫学区に嫁いで来る事に本人は抵抗なかったそうですが、材木商を営んでおられたご実家のご両親は大層心配されたそうです。

結婚された当初、町家の切の盛りは小島家のご両親がされており、掛け軸や床の間のしつらえもお父様がされていたそうです。もともと小島家は呉服商をされていましたが、お父様の代に廃業され、富佐江さんのご主人は若手建築家として設計のお仕事をされてい

ました。不幸な事にバブル真っ只中の平成3年にご主人が亡くなり、平成5年にはお父様も亡くなるという事態に見舞われ、町家を受け継ぐという立場に立た

されました。それをきっかけに町家の保全再生に取り組む「京町家再生研究会」(特定非営利活動法人・平成4年設立)に参加され、平成9年より理事で事務局長を勤めておられます。娘時代も伏見の町家で育った小島さん

人々に対しての行政の施策」を主なテーマとして活動をされており、一昨年から施行された景観法にもその成果が盛り込まれています。また、町家に住まいとするということについての本を数冊出版されています。

◆ 小島さんは、現在お住まいの町家のミセ(表屋)部分を京都学園大学の京町家キャンパス「新柳居」として開放されています。

これは町家の活用法を色々と悩んでいた時、ふと、イタリアを見た、大学の施設が街中に点在するの思い出し、学生は街中で勉強するのが良いと思っていたころに話が進んで開校の運びになったということです。

一周年を迎え、明倫学区とのコラボレーションも活発で、学区の人々が何人も講師として貴重な体験や知識を講演されています。

最後に明倫学区についてお聞きすると、街中のわりに落ち着いた雰囲気と、日本の伝統文化の中心地という実感を持つところを挙げられました。

確かにこの地域はかつて織田信長や秀吉などが闊歩した南蛮寺があり、茶屋四郎次郎の邸宅があり、祇園祭は目の前とこの地域こそ正しく歴史、文化の中心地に違いありません。

「この地が今、マンションの増加などで商環境と住環境とのせめぎ合っている中で、行政ではな、学区民間の地域ルールが確立ができておこな地域になればと思っています。」「ご容れられます。

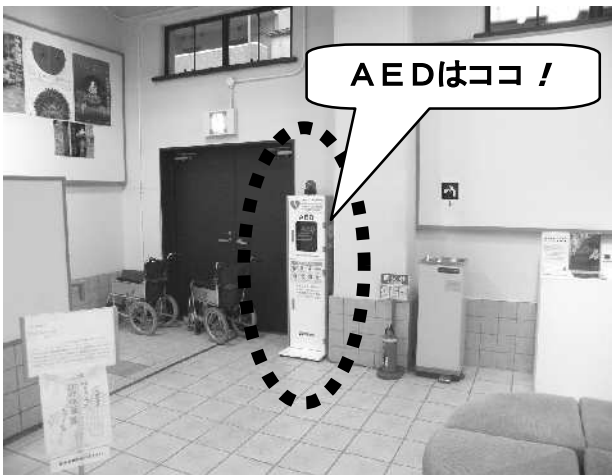
記 長谷川

★京都芸術センター

インフォメーションコーナー(正面玄関右・写真参照)にAED(自動体外式除細動器)を設置しました。

AEDは、傷病者の心電図を自動解析し、心臓の除細動(正常な鼓動に戻す)が必要な場合、音声等の指示により電気ショックで除細動ができる医療機器です。

京都芸術センターをご利用の方だけでなく、緊急を要する場合、どなたでもお使いいただけます。



◆京都芸術センタースケジュール

●第二回音楽鑑賞「国栖(くす)」

6月25日(木)

18時30分開場、19時開演

・前売一五〇〇円、当日一八〇〇円

・チケット販売場所

京都芸術センター、観世会館、チケットぴあ(PO)03-3333-09

(〇)

奈良にまつわる曲を特集して取り上げる素謡の会。2回目の「国栖」は、

壬申の乱前夜、吉野逃れた大海人皇子(後の天武天皇)の元に天女が降臨し、

天武天皇の聖代を予祝する、という話

です。

また、素謡のほかに、お話解説、

仕舞、プルトークとアフタートークがあります。

編集後記

毎回二十日に発行していましたが明倫二コースですが、自治連総会や明倫ハーテイの記事も載せたいという事で六月一日になりました。明倫ハーティは第一面でも紹介していきますように大変、和やかで楽しい書き手へのパートナーでした。この様子は明倫二コースのホームページに掲載していきます。

http://www.meirin-news.com

他にも色々な情報を出していきますので是非ご覧下さい。

長谷川